

## 資料 1 の参考資料

( ページ )

参考資料 - 1	政策の評価票 ( 案 )	... 1
- 2	施策の評価票 ( 案 )	... 3
- 3	政策重要度と市民生活実感のマトリックス	... 6
- 4	客観指標の状況	... 8
- 5	客観指標マニュアル	... 1 0

政策番号 政策名

340 市民とともに政策を評価して市政運営に生かす

政策の方向

行政活動の基礎的な単位となる個々の具体的「事務事業」だけでなく、これらの「事務事業」を包括した基本的方針を示す「政策」そのものについても、市民とともに評価を行うことのできるしくみを整え、評価から得られた成果を「政策」や「事務事業」の見直しと新たな形成につなげる。

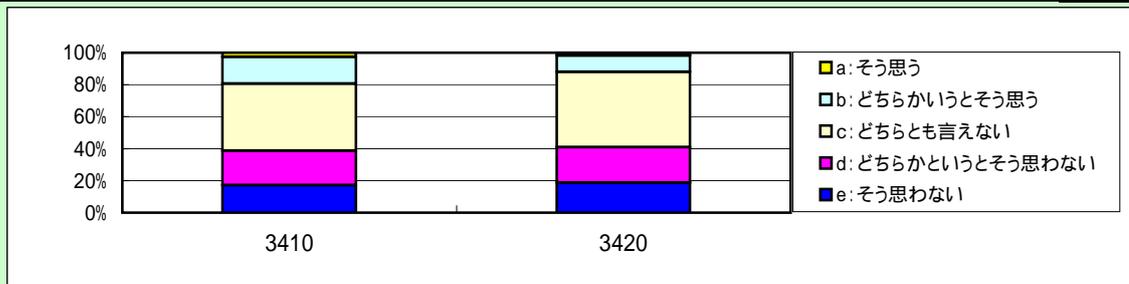
政策の評価

1 政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価

施策番号	客観指標名	20		21		22	
		数値	評価	数値	評価	数値	評価
3410	政策評価における客観指標のうち、目標値が設定できた指標の割合(%)	96.2	a	98.1	a	98.1	a
3410	事務事業評価(一般型)において、目標達成度評価を行っている事業割合(%)	84.4	d	84.3	d	89.6	c
3420	再評価を行った総事業数のうち、完了した総事業数の割合(%)	25.0	a	25.0	a	33.0	a
3420	(準)情報公開度(建設企画課HPアクセス件数)(件)	9,658	d	15,318	a	27,147	a
客観指標総合評価			b		b		a

2 政策を構成する施策に対する市民生活実感評価

施策番号	設問	評価		
		20	21	22
3410	このアンケートなど、市民が市の仕事を評価する仕組みが整っている。	d	d	c
3420	公共事業の再評価によって事業の点検がしっかりできている。	d	d	c
市民生活実感総合評価		d	d	c



### 3 総合評価（市民生活実感総合評価＋客観指標総合評価）

B	客観指標については、全4項目のうち3項目でa評価となり、大変良い状況である。 市民生活実感については、2項目ともc評価となり、どちらとも言えない状況である。 こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的はかなり達成されていると評価する。	20年度	C
		21年度	C

### 4 政策の重要度（27政策における市民の重要度）

20年度		21年度		22年度	
順位	%	順位	%	順位	%
18	9.9%	16	12.3%	20	8.6%

### 5 原因分析・今後の方向性

・原因分析と今後の方向性に分けて、わかりやすく説明

#### 【原因分析】

- ・行政評価については、客観指標評価で高い評価を得ている一方、市民の皆様の実感が低いことが課題となっていた。
- ・このため、市民の皆様になじみにくい政策評価をマンガでわかりやすく紹介したりリーフレットの発行などの取組を進めた結果、市民生活実感評価が向上（d c）したと考えられる。

#### 【今後の方向性】

- ・市民生活実感評価は向上したものの、まだ改善の余地があるため、引き続き、市民に分かりやすい説明や広報の充実など、行政評価への市民の関心を高めるような施策を展開する。
- ・また、厳しい財政状況下で、各政策の取組を点検し、より効果的な対応策について、検討する際の議論に寄与するよう、政策、施策評価票の「原因分析・今後の方向性」欄の記載事項の充実を図る。
- ・更に平成23年度からの「次期京都市基本計画」に対応した政策評価の在り方について、政策評価委員会で検討する。

### （参考）この政策を実現するための施策とその総合評価

施策番号	施策名 施策概要	評価結果		
		20	21	22
3410	市民とともに評価のしくみづくり	D	C	C
	「政策」や「事務事業」の状況、本市の財政状況等を分かりやすく市民に伝える方法を工夫し、時代状況に応じて充実することにより、市民と共に評価を行える仕組みをつくる。			
3420	公共事業の再評価	C	B	B
	公共事業の効率化・重点化と実施過程の透明化を図るため、事業着手後一定期間を経過したものを中心に、第三者機関による再評価を行い、必要な見直しを行う。			

施策番号	3410		
施策名	市民とともに行う評価のしくみづくり		
概要	「政策」や「事務事業」の状況，本市の財政状況等を分かりやすく市民に伝える方法を工夫し，時代状況に応じて充実することにより，市民と共に評価を行える仕組みをつくる。		
担当局	総合企画局	共管局	行財政局
上位政策	340 市民とともに政策を評価して市政運営に生かす		

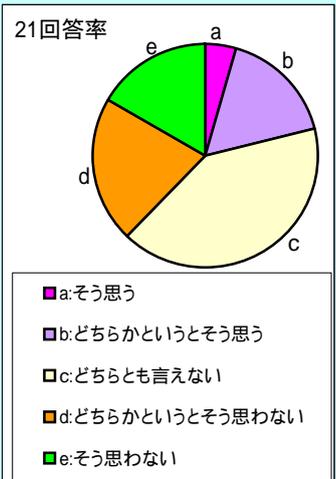
**施策の評価**

**1 客観指標評価**

	20年度	21年度	22年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 政策評価における市民生活実感調査の回答率(%)	d	c	37.2	42.4	41.2	102.9%	a
2 政策評価における客観指標のうち，目標値が設定できた指標の割合(%)	a	a	98.1	98.1	100	98.1%	a
3 行政評価に寄せられた市民意見申出数(件)	e	c	9	0	15	0.0%	e
4 行政評価ホームページアクセス件数(件)	d	a	16,403	19,176	16,403	116.9%	a
5 事務事業評価(一般型)において，目標達成度評価を行っている事業割合(%)	d	d	84.3	89.6	100.0	89.6%	c
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	d	b	<b>客観指標総合評価</b>				<b>b</b>

**2 市民生活実感評価**

設問	このアンケートなど，市民が市の仕事を評価する仕組みが整っている。					
回答	20		21		22	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	14	3.1%	19	2.6%	26	4.4%
b: どちらかというと思う	60	13.5%	120	16.7%	98	16.7%
c: どちらとも言えない	181	40.6%	301	41.9%	241	41.1%
d: どちらかというと思わない	116	26.0%	155	21.6%	123	21.0%
e: そう思わない	75	16.8%	123	17.1%	98	16.7%
有効回答数	446		718		586	
<b>市民生活実感評価</b>	<b>d</b>		<b>d</b>		<b>c</b>	



\* この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

### 3 総合評価（客観指標総合評価 + 市民生活実感評価）

	20	21	22
客観指標総合評価	d	b	b
市民生活実感評価	d	d	c
総合評価	D	C	C
重み付け		(理由)	
<input type="checkbox"/> 客観指標	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	市民とともに評価を行うことができる仕組み作りには、評価の制度・内容が市民に十分浸透していることが重要であるため	

### 4 原因分析・今後の方向性 客観指標総合評価，市民生活実感評価，事務事業評価の結果等を踏まえて記入

#### 【原因分析】

・市民の皆様になじみにくい政策評価について、マンガで分かりやすく紹介したリーフレットの発行、政策評価に関するクイズコーナーのホームページへの掲載などの工夫を凝らしたことで、市民生活実感評価が向上（d c）したと考えられる。

#### 【今後の方向性】

・市民生活実感評価は向上したものの、引き続き、改善の取組を進めていく必要がある。  
 ・このため、市民とともに評価を行うという評価制度の趣旨を踏まえ、市民目線での分かりやすい広報の仕方に一層の工夫を凝らしていく。具体的には、評価結果のポイントが一目で分かるホームページの作成などに取り組む。また、平成23年度からの「次期京都市基本計画」に対応するよう、現在の評価制度を点検し、政策 - 施策 - 事務事業の各段階にふさわしい指標の設定など必要な見直しに取り組む。

#### （参考）この施策を実現するための事務事業

・原因分析と今後の方向性について、わかりやすく説明

	事業名	21年度予算 (千円)*	22年度予算 (千円)*	21年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
1	政策評価の実施	16,025	14,397	効率化等による見直し	総合企画局
2	事務事業評価制度の運用	16,791	16,775	現状のまま継続	総務局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	合計	32,815	31,171		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	32,815 (0)	31,171 (0)		

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

政策重要度と市民生活実感のマトリックス (20年度 21年度)

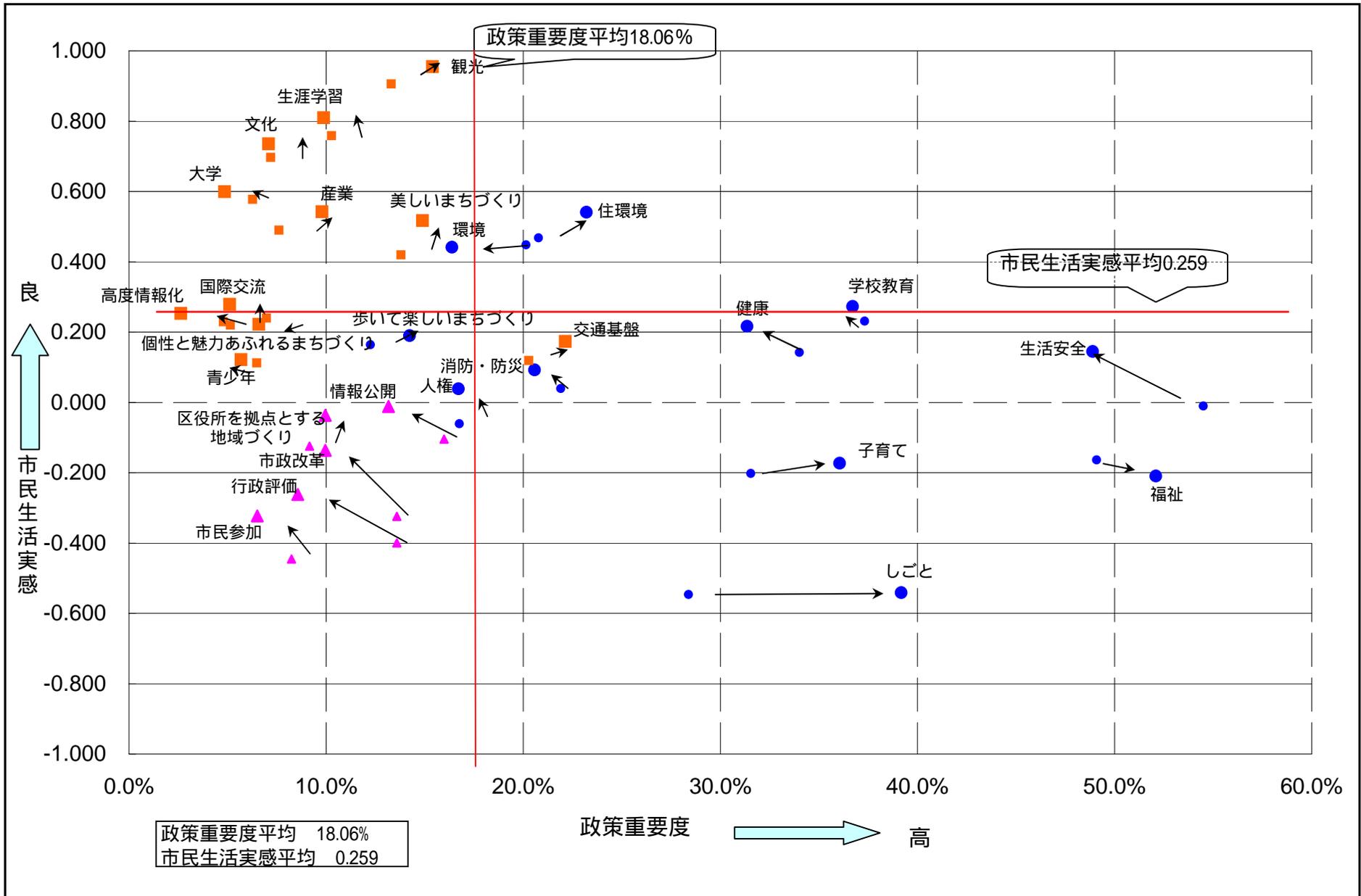
(凡例)

(20年度) (21年度)

政策重要度：回答数 ÷ 有効回答者数

● = 安らぎ ■ = 華やぎ ▲ = 信頼

市民生活実感：政策を構成する施策の生活実感の平均数値 (ただし、住環境は1121の数値、しごとは1122~1124の平均数値)



## 客観指標の状況

### 1 「目標値を設定して評価する指標数」の推移

年度	指標数	目標値を設定して 評価する指標数	設定率
21	414	407	98.3%
20	418	410	98.1%
19	421	405	96.2%
18	438	323	73.7%
17	437	175	40.0%
16	387	86	22.2%

### 2 目標値を設定していない客観指標（7指標）

施策番号	指標名
1223	障害児施設の設置数（箇所）
1321	（準）緊急時における飲料水の確保日数（日）
1331	刑法犯認知件数の伸び率（％）
	交通事故発生件数（件）
2112	（準）景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積
2211	（準）事業所開業率（％）
2323	移動時間（新十条通及び油小路線）（分）

### 3 一施策当たりの客観指標数の推移

年度	客観指標が1つの施策	客観指標が2つの施策	合計
21年度	0 施策	5 施策	5 施策
20年度	0 施策	4 施策	4 施策
19年度	0 施策	6 施策	6 施策
18年度	3 施策	8 施策	11 施策
17年度	9 施策	21 施策	30 施策

### 4 1 施策あたりの客観指標指標数が3指標未満の施策

施策番号	施策名	指標
2322	都市圏内の交流を支える交通網の充実	道路延長規格改良率（％）
		バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合（％）
2332	デジタルアーカイブの推進	デジタルアーカイブ画像展示システムの稼働日数（日）
		デジタル画像著作権許諾件数（件）
2333	情報基盤を活用した企業活動の支援	情報サービス業年間売上高（百万円）
		専門家派遣事業（IT）派遣回数（回）
2336	情報教育の充実	校内LAN整備率（％）
		教員PC指導可能率（％）
3530	新市庁舎の整備	市庁舎整備基金の積立（億円）
		市庁舎整備に向けた具体的取組（％）

2333「情報化支援人材育成事業参加者数（人）」は19年度で事業が終了したことから客観指標を削除したため、21年度から3指標未満となったもの。

# 客観指標の マニュアル

平成21年度版

京都市総合企画局  
政策企画室



# 目 次

はじめに	1
1 なぜ指標や目標値を設定するのか	2
指標や目標値の設定が京都市政にもたらす効果	
2 ロジックモデルを使った指標の設定	3
3 ロジックモデルを踏まえたうえで、改めて指標と目標値の条件を検証	5
A 目標値の設定根拠は明確ですか。設定の意図等を合理的に説明 できますか	5
B 目標値の性質に照らして明確な目標水準が設定されていますか	
既存計画に基づいて、算出する目標値	5
トレンド（すう勢値）による目標値	6
財政状況や市民ニーズを踏まえて設定する目標値	6
外的要因の予測を踏まえた目標値	7
C 政策・施策・事務事業と指標とのつながりは明確ですか	7
D 経年変化を把握でき、かつ、計測可能ですか	8
E 京都市に関わりのあるものですか	8
F 設定している目標値と他の目標値との間で矛盾していませんか	8
G 市民に分かりにくい名称（専門用語）になっていませんか	9
H データの把握に過度のコストや時間を要していませんか	9
4 ロジックモデル及び指標と目標値の設定条件を踏まえ、指標と 目標値を検証	10
データがない場合の指標の設定方法について	12
(付録) ロジックモデルチャートについて	14



## はじめに

行政評価を的確に実施するためには、現在評価に用いている指標が、施策の社会的効果や成果を表す客観的な成果指標になっているのか、指標の評価基準が一面的画一的でないか、また目標値の設定は、適切に行われているか、などの観点から検証を行うことが必要です。

適切な指標を設定することは、評価そのものの「適正さ、正確さ」にもつながります。

「どのように客観指標を設定すればよいのか」、「目標値の設定はどのように行えばよいのか」という疑問を解決するため、また、現在設定している指標の適正さを再点検していただくために、本マニュアルを活用してください。

**マニュアル内に記載のある指標例や数値については、すべて  
考え方の例として提示するもので、実際とは異なるものもあります。**

# 1 なぜ指標や目標を設定するのか

行政評価は、客観的かつ公平に実施しなければなりません。しかし、言葉やイメージだけで的確な評価を行うことはできません。

そこで、各政策 施策 事務事業のレベルごとでの目的、意図を明確に表現し、成果を把握できる「指標」と「目標値」を「数値」で設定することにより、過去の数値や他の自治体等との比較をしながら、適正な評価を行うことができるのです。

< 指標や目標値の設定が京都市政にもたらす効果 >

京都市全体、部局、課等の進むべき方向や目標が共有できる。

政策・施策・事務事業の見直しを考える際の判断の客観性が担保され、重点化や優先順位化するうえでの判断材料となる。

市民や市会に対しての説明責任が果たせる。

目標達成までの進行管理を行うことができる。

まずは、今設定している指標を、次の8つのチェック項目に照らしてみましよう。

	A 目標値の設定根拠は明確ですか。設定の意図や理由について、合理的に説明できますか。
	B 目標の性質に照らして、明確な目標水準が設定されていますか。
	C 政策・施策・事務事業と指標とのつながりは明確ですか。
	D 経年変化を把握でき、かつ計測可能なものですか。
	E 京都市に関わりのあるものですか。
	F 設定している目標と他の目標との間で、矛盾がありませんか。
	G 市民に分かりにくい名称（専門用語）になっていませんか。
	H データの把握に過度のコストや時間を要していませんか。

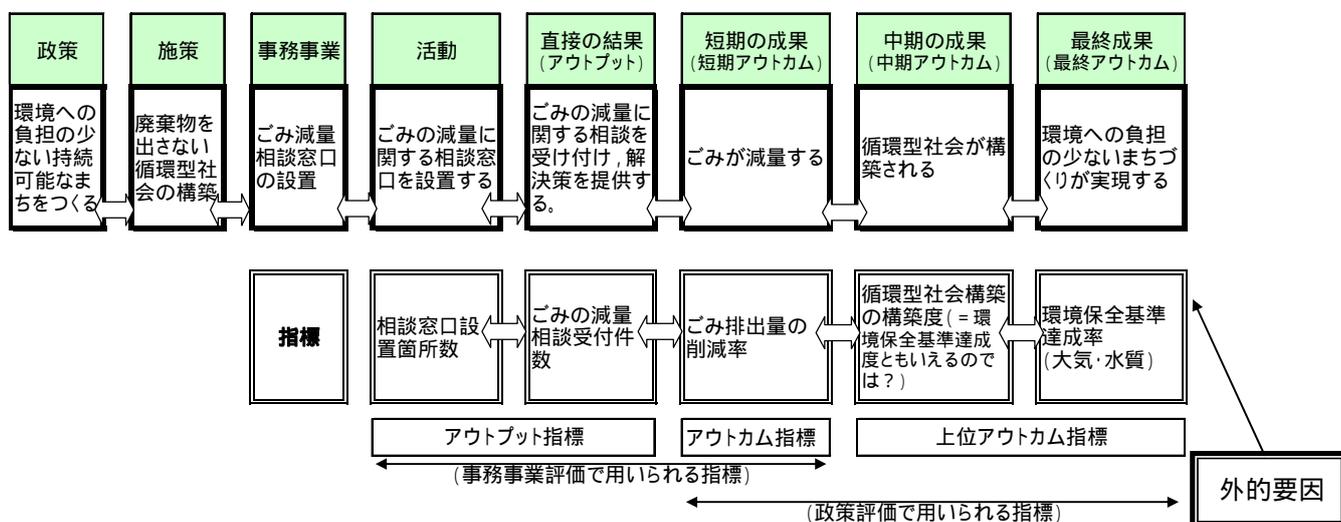
## 2 ロジックモデルを使った指標の設定

行政活動の指標化に当たっては、行政活動を「資源の投入（インプット）」から「結果（アウトプット）」を経て「成果（アウトカム）」までに至る論理的過程（ロジック）で見ることが役立ちます。その道筋を表にしたものが「ロジックモデル」です。

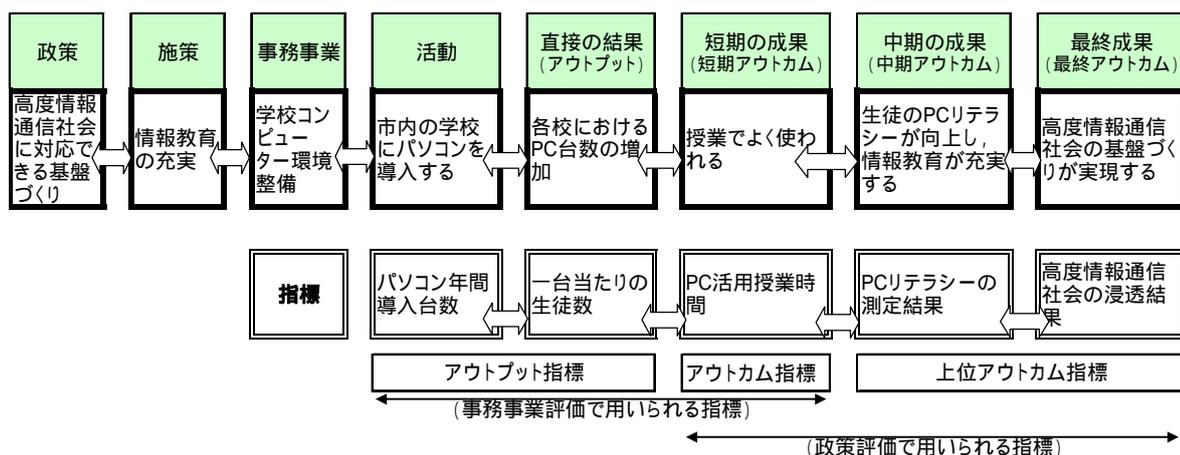
指標を設定する際は、政策 施策 事務事業の各段階ごとの目標を明らかにし、その目標に対応する適切な指標を設定することが必要です。

### ロジックモデル

例1



例2



主に、図の、の指標が事務事業評価、の指標が政策評価で用いられる指標。特に図の、の指標は、政策・施策・事務事業の各レベルの指標相互の連動性を考慮して設定することが重要です。

ロジックモデルにおける各ステージ	各ステージの説明
政策（PLAN）	<p>京都市が目指すべき基本的方向</p> <p>例）「環境への負担の少ないまちをつくる」 「高度情報通信社会に対応できる基盤づくり」</p>
施策	<p>政策をより具体化した行政活動の目標</p> <p>例）「廃棄物を出さない循環型社会の構築」 「情報教育の充実」</p>
事務事業	<p>政策，施策を実現するための実行手段</p> <p>例）「ごみ減量相談窓口の設置」 「学校コンピューター環境の整備」</p>
活動（Do）	<p>事務事業の活動</p> <p>例）「ゴミ減量相談窓口を設置する」 「市内の学校にパソコンを導入する」</p> <p>&lt;進ちよくを測る指標：アウトプット指標&gt; 「相談窓口設置箇所数」, 「パソコン年間導入台数」</p>
直接の結果（アウトプット）	<p>事務事業の活動結果</p> <p>例）「ごみの減量に関する相談を受け付け，解決策を提供する」 「各校における PC 台数の増加」</p> <p>&lt;進ちよくを測る指標：アウトプット指標&gt; 「ごみの減量相談受付件数」, 「一台当たりの生徒数」</p>
短期の成果（短期アウトカム）	<p>事務事業の活動結果による短期的な成果で, 政策，施策の達成が目標</p> <p>例）「ごみが減量する」 「(パソコンが) 授業でよく使われる」</p> <p>&lt;進ちよくを測る指標：アウトカム指標&gt; 「ごみ排出量の削減率」, 「PC 活用授業時間」</p>
中期の成果（中期アウトカム）	<p>による中期的な成果で，政策，施策達成が目標</p> <p>例）「循環型社会が構築される」 「生徒の PC リテラシーが向上し，情報教育が充実する」</p> <p>&lt;進ちよくを測る指標：上位アウトカム指標&gt; 「循環型社会の構築度( = 環境保全基準達成度に言い換え可能)」, 「PC リテラシーの測定結果」</p>
最終成果（最終アウトカム）	<p>による最終の成果で，政策，施策の達成が目標</p> <p>例）「環境への負担の少ないまちづくりが実現する」 「高度情報通信社会の基盤づくりが実現する」</p> <p>&lt;進ちよくを測る指標：上位アウトカム指標&gt; 「環境保全基準達成率（大気・水質）」 「高度情報通信社会の浸透結果」</p>

### 3 ロジックモデルを踏まえたうえで、指標と目標値の条件を検討

#### A 目標値の設定根拠は明確ですか。設定の意図等を合理的に説明できますか。

京都市の計画等の方針に沿ったものである、法的な根拠がある、社会的な要請があるなど、設定の根拠が明確でなければなりません。  
また、設定に当たり、次のようなポイントを整理しておく必要があります。

施策の役割や位置付けはどうなっているか？  
施策に関連する時代の潮流や社会経済情勢はどう変化しているか？  
京都市の指標の数値はどのように変化しているか？  
外的要因の影響度と今後の動きは？  
参考となる上位計画・既存計画等は？（目標の設定に使えるか？）  
その他の要因は？（市として積極的に取り組むべきか？市民ニーズは？）

#### B 目標値の性質に照らして、明確な目標水準が設定されていますか。

既存計画に基づいて、算出する目標値

市や国の既存計画などに基づいて算出された目標値を評価に使用することで、本市の市政運営の一貫性が担保されます。

手 法 市の既存計画や国等の上位計画に基づき目標値を設定する。

適用条件 指標に関連する既存計画に基づいて推進すべき状況にある場合

指標例) 防火水槽及び防火井戸整備数(基)

施策名: 「京都のまちの特色に配慮した災害に強いまちづくり」

指標説明: 整備した防火水槽及び防火井戸の数

・前回数値: 16(18年度)

・最新数値: 20(19年度)

考 え 方: 「京都市消防局震災消防水利整備計画」における中期目標  
<平成30年度までに225基設置>という目標値に基づいて、  
単年度目標値( )を設定

19年度目標値: 中長期目標値(225基設置)達成のために、当該年度  
に整備を予定する防火水槽及び防火井戸の数を算出

平成17年度までに30基を設置済み。残る整備数は

$225 \text{ 基} - 30 \text{ 基} = 195 \text{ 基}$   $195 \text{ 基} / 13 \text{ 年} (18 \text{ 年度} \sim 30 \text{ 年度}) = 15 \text{ 基}$

よって、単年度目標値 = 15 基

- ( ) 単年度目標を設定せず，中長期目標値で評価する場合も考えられますが，できる限り，中長期目標値から単年度目標を割り出して，評価を行ってください。

## トレンド（すう勢値）による目標値

過去と現況の数値を踏まえて，これまでの状態が続けば，こうなるであろうという目安としての目標値

- 手 法 過去の数値と最新数値の延長により，将来目標値を推測する。  
適用条件 社会経済情勢や財政状況等の変化が指標に影響しにくい，あるいはこれまでと同様に推移すると予想される場合

指標例) 配食サービスによる年間配食数

施策名：「高齢者とその家族の生活を支えるサービスの充実」

指標説明：京都市社会福祉協議会が実施する，高齢者への配食サービスによる年間配食数

- ・ 前回数値：370,000（18年度）350,000（17年度）
- ・ 最新数値：390,000（19年度）

考 え 方：配食サービスの伸びは，今後も同様に推移すると予想

目 標 値：前回数値×前回数値の伸び率（17年度 18年度）  
= 370,000 × 1.057 = 391,000

## 財政状況や市民ニーズを踏まえて設定する目標値

従来の傾向や既存計画の目標値によらず，財政状況や市民ニーズの変化等を踏まえて設定する目標値

- 手 法 ・ 現状が低水準にあるので，平均レベルを目標値とする。  
・ 高水準にある場合は，世界一，日本一等の数値を目標値とする。  
適用条件 一定水準（全国平均等）を目安として市の目標を設定する場合  
市の役割の検討を踏まえ，施策の目標を設定する場合

指標例) 消費生活相談解決率（％）

施策名：「消費者が自立し安心してらせるまちづくり」

指標説明：消費生活相談に寄せられる苦情件数のうち解決に至った割合

- ・ 前回数値：99.9（18年度）
- ・ 最新数値：99.9（19年度）

考 え 方：全案件の解決のため，100%を目標とする

目 標 値：100%

## 外的要因を踏まえた目標値

経済情勢や産業構造等の外的要因の大きな変化が予想され、施策への影響が大きい場合、外的要因の変化を踏まえて算出する目標値

手 法 外的要因の変化を予測し、その影響度を把握したうえ、構成事業等の施策・目標への寄与度により複合的に目標値を推測する。

適用条件 経済情勢や産業構造、財政状況等の外的要因の大きな変化が予想され、施策への影響が大きい場合

また、外的要因の変化により、目標値が固定で、下記の例のような場合も考えられますが、評価基準の変更については、慎重に行わなければなりません。

指標例) 老人クラブ会員数(数)

施策名:「高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる機会の提供」

指標説明:京都市が認定している老人クラブに加入している会員数

・前回数値:66,721(18年度)

・最新数値:65,903(19年度)

考 え 方: 高齢者の生活形態及びニーズの多様化により会員数は減少傾向にあるため、前年度会員数を100%とした今年度の会員数を評価する。

目 標 値:66,721(前年度会員数)

## C 政策・施策・事務事業と指標とのつながりは明確ですか

指標の設定とは、政策、施策、事務事業の各段階に応じた目標を明確化することです。政策、施策、事務事業のそれぞれの段階に応じた目標の達成状況を測定するための、ものさしが「指標」です。

このため、それぞれの政策、施策、事務事業と指標とのつながりが明確でなければいけません。指標間の矢印、また政策・施策との関係の線がうまく繋がらない場合、指標が適切かどうかを改めて検証してみましょう。

## D 経年変化を把握でき、かつ、計測可能なものですか

評価は、毎年度の予算編成などに「活用」するために行うものです。このため、経年変化を把握できることが必要です。そこで、指標は長期的（10～20年程度）に使用可能で、原則、毎年調査が実施されているものとしてください。



なお、外的要因による変動幅が大きく、不安定なものは、指標として不適當です。

< 長期的に使えない、安定性のない指標の例 >

- ・ 大学を卒業して進学する人数      毎年絶対数が変動するため不適當  
指標として採用するなら「進学率」の方が適當
- ・ 為替レート、物価指数      一定期間や一時点の社会経済活動等の状況を示し、かつ変動幅が大きいため不適當

既に設定した指標を変更する場合は、事前に政策評価担当部局（総合企画局政策企画室政策企画担当）と調整してください。

## E 京都市に関わりのあるものですか

当然のことですが、市民の暮らしの状態、京都市の社会状態を表すもので、京都市に関わりのあるものを選んでください。

その際、京都ならではの指標を選択すれば、市民の方がより実感しやすくなります。

例) 地域間の移動時間：嵐山・東山間の移動時間  
大気汚染の度合い：大文字山から星の見える数

## F 設定している目標と他の目標との間で、矛盾していませんか

指標間の目標値で矛盾が生じている場合は、ロジックモデルが不十分である可能性があります。政策・施策・事務事業間の「縦のつながり」、また同じ事務事業や施策内での「横のつながり」で矛盾が生じていないか、再度点検しましょう。

## G 市民に分かりにくい名称（専門用語）になっていませんか

業務上，日常的に使用している用語が，市民にも分かりやすい用語だとは限りません。  
今設定している名称についても見直し，できる限り分かりやすい名称にしましょう。

< 指標名を分かりやすく表現した例 >

< 指標名（改善前） >		< 表現を分かりやすく工夫した例 >
京都市流入人口	→	市外から京都市への通勤，通学者の数
人権侵犯事件受理数	→	京都地方法務局における人権救済制度の利用状況
緑被率	→	京都市域での緑が占める割合

## H データの把握に過度のコストや時間を要していませんか

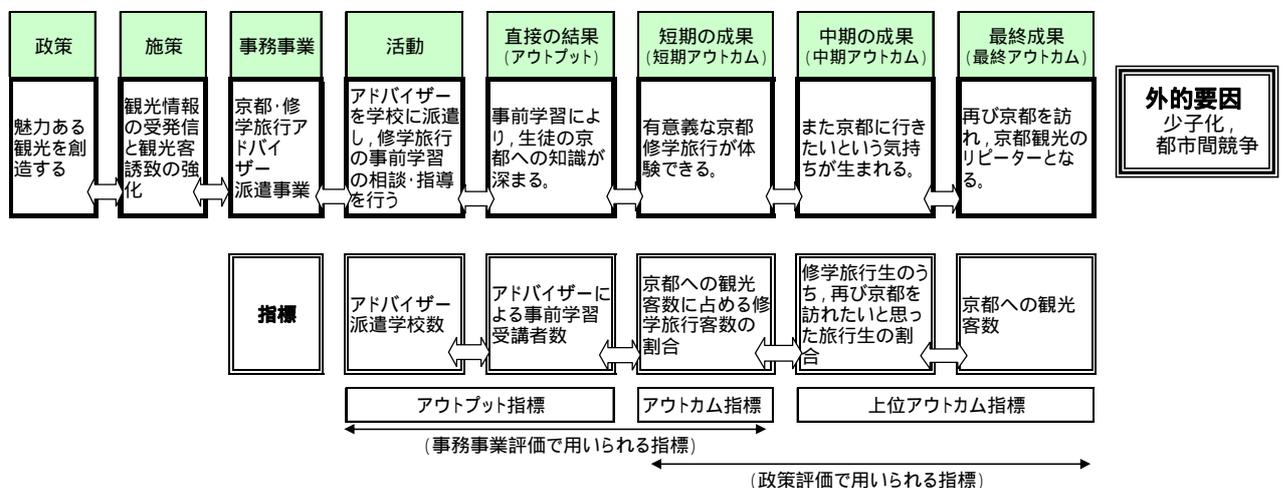
指標選定の際は，既存データの活用や，日常業務における情報の把握など，費用対効果の観点から，指標のデータ収集に過度の経費や時間を要しないことが必要です。

## 4 ロジックモデル及び指標と目標値の設定条件を踏まえ、検証

では、ロジックモデルと、これまでのA～Hの指標及び目標値の設定条件を踏まえて、指標と目標値について検証してみましょう。

< 政策 >	魅力ある観光を創造する
< 施策 >	観光情報の受発信と観光客誘致の強化
< 事務事業 >	京都・修学旅行アドバイザー事業

以上の政策 施策 事務事業をもとに、ロジックモデルを用いて、成果に至るまでの論理的過程を見ていきます。



A 目標値の設定根拠は明確ですか。設定の意図や理由について、合理的に説明できますか。

(1) アドバイザー派遣学校数：前年の数値

については、平成19年度から開始した新たな取組であるため、目標値として、前年の数値で比較するのが望ましいと考えます。

(3) 京都への観光客数に占める修学旅行客数の割合：過去5年間の最高値については、生徒の修学旅行の形態も、海外旅行が増加するなど、この10年で大きく変化し、都市間競争も激しくなっているため、直近である過去5年間の数値で比較の方が望ましいと考えます。

(5) 京都への観光客数：短期：過去5年間の最高値

中長期：平成22年度までに5,000万人

については、「京都市基本計画」、「新京都市観光振興推進計画」に掲げた数値です。

B 目標値の性質に照らして明確な目標水準が設定されていますか。

上記のEの目標値と目標値の設定根拠とを見比べ、矛盾がないかを検証します。

指標(1), (3), (5)の目標値についてみると,  
(1), (3)・・・トレンド(すう勢値)による目標値  
(5)・・・既存計画により算出する目標値  
となっており, 矛盾はありません。

C 政策・施策・事務事業と指標とのつながりが明確ですか。  
まず, 上記の から の政策から最終成果まで  $\longleftrightarrow$  が正しくつながっている  
かどうかを検証します。上記の場合は, 問題ありません。

D 経年変化を把握でき, 計測可能ですか。  
上記の指標についてみると,  
(1) アドバイザー派遣学校数  
把握済(毎年)  
(2) アドバイザーによる事前学習受講者数  
(1)に伴い把握可能であるが, 現在は把握していない。  
(3) 京都への観光客数に占める修学旅行客数の割合  
把握済(毎年)  
(4) 修学旅行生のうち, 再び京都を訪れたいと思った旅行生の割合  
現在のところ把握していない  
(5) 京都への観光客数  
把握済(毎年)  
よって, (1)から(5)のうち, (4)については, 現在のところデータによる把握ができていないため, 指標としてふさわしくないといえます。  
また, B(2)については, 現在のところ把握していないため, 指標の対象からは除いておきます。

E 京都市に関わりのあるものですか。  
上記の(1), (3), (5)のいずれの指標も, 京都市に関わりがあるといえます。

F 設定している目標値と他の目標値との間で矛盾していませんか。  
ロジックモデル「指標」間の  $\longleftrightarrow$  が正しく繋がっているかを検証します。

G 専門用語を使い, 市民に分かりにくい名称になっていませんか。  
「修学旅行客数」, 「観光客数」については, 明確です。  
「アドバイザー」という表現についても, 一般的な表現であるといえます。

H データの把握に過度のコストや時間を要していませんか。  
既存の統計情報等を参照すれば, 把握できる情報ばかりなので大丈夫です。

以上により, 問題がなければ, 指標と目標値の設定は正しいといえます。  
また, 一から指標や目標値を設定する場合も, 同様の方法で設定してください。

## データがない場合の指標の設定方法について

- 1 別の指標（代替指標）を用いる。
- 2 事業実施過程でのデータの収集を検討する。

### 1 別の指標（代替指標）を用いる

その1：寄与度の高い事業のアウトプット指標を用いる。

その2：指標の意味を別の角度で捉え，データ収集可能な別の指標に置き換える。

という方法が考えられます。

#### その1：寄与度の高い事業のアウトプット指標を用いる

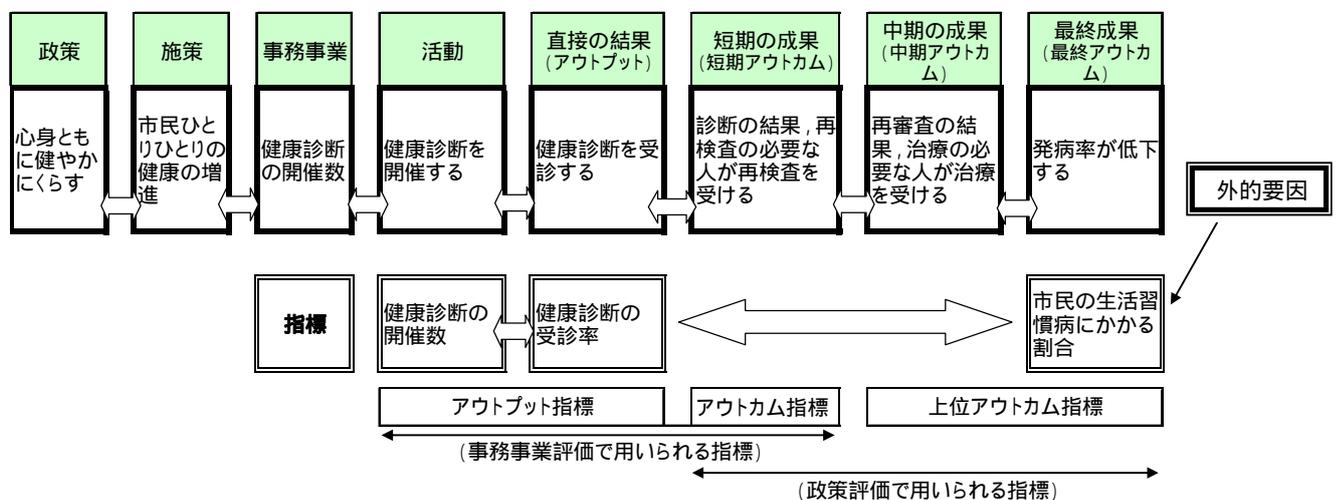
例として，「市民ひとりひとりの健康の増進」という施策（例）の指標をみてみます。

まず，施策の目的・意図及び目標を確認します。

<目的・意図> 市民の健康づくりを支援する。

<目 標> 急増する生活習慣病に対応するため，健康診断事業を実施する。

上記の目的・意図及び目標から，「市民が生活習慣病にかかる割合（％）」が政策の指標として本来望ましいと思われれます。しかし，このようなデータがない場合，以下のようにロジックモデルを用いて構成要素を体系化します。



データがあり目標値が設定できる指標のうち，寄与度の大きい事業の数値目標により表現します。 施策の客観指標：健康診断の受診率

その2：指標の意味を別の角度で捉え、データ収集可能な別の指標に置き換える

以下に例示します。

指標	別の角度で捉えると・・・	データ収集可能な代替指標例
1) 仕事と子育ての両立度	支援制度としての育児休業制度の普及	1') 育児休業制度普及率
2) 男女雇用機会均等化達成度	従来女性が多かった職業に男性が就く	2') 男性保育士数 男性看護師数

事業実施過程でのデータの収集を検討する。

事業の実施の過程で、簡単なアンケート等により満足度、達成度等を把握することで、目標値の設定できる指標を採用します。



指標	データ収集方法の例
1) 研修の達成度	研修会終了時に簡単なアンケートを実施
2) 広報の有効度	広報誌の内容に対して、メール・FAX等で意見を聴取
3) イベントの有効度	イベント参加者に簡単なアンケートを実施

(参考) 指標と目標値の設定のための参考資料

行政評価関係のウェブサイト集

財政課(旧行政改革課)のイントラネットホームページに以下のようなリンク集がありますので、指標や目標値の設定に活用してください。

- ・他都市の行政評価関係のページ
- ・首相官邸(各種白書等が閲覧できます。)
- ・電子政府(中央省庁関連の資料が充実しています。)

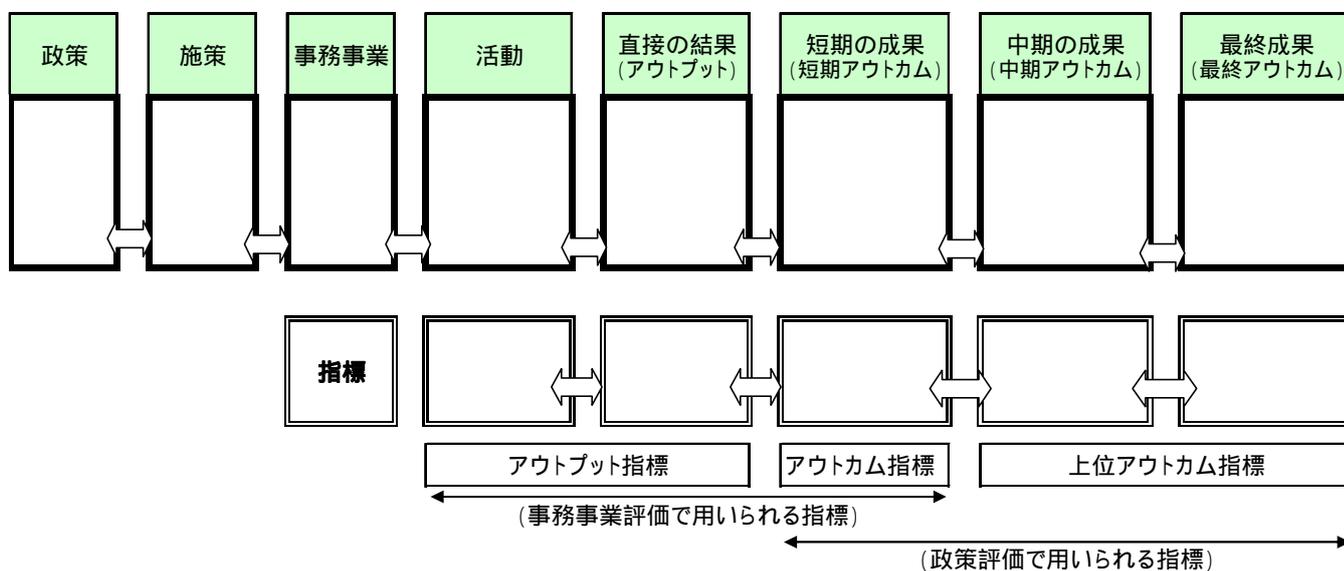
## < 付録 >

### ロジックモデルチャート

下記のモデルチャートに から まで，政策・施策・事務事業・活動やその活動の結果及び成果を記入し，その活動や結果の「ものさし」となるのにふさわしい指標を設定してください。

次に，各指標が政策・施策・事務事業と連動しているかどうかをチェックしてください。

最後に，適切な目標値が設定できれば，客観指標の設定は完了です。



## 資料 2 の参考資料

	( ページ )
参考 - 1 京都市市民生活実感調査依頼文	... 1
- 2 京都市市民生活実感調査記入方法	... 2
- 3 京都市市民生活実感調査 調査票 A	... 3
- 4 京都市市民生活実感調査 調査票 B	... 9

## 京都市市民生活実感調査にご協力ください

平素から京都市政にご理解とご協力を賜り，厚く御礼申し上げます。

このアンケート調査は，京都市が取組を進めている様々な分野について，市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」，また「何を重要と感じておられるのか」について調査することを目的としています。

皆様からいただいた回答を集計，分析し，その結果を市の政策評価（ ）や市の仕事を効果的に進めるための重要な情報として活用していきたいと考えております。

なお，このアンケート調査は，市民の皆様の感じ方から政策，施策を評価し，今後の市政運営に役立てるために，市内にお住まいの方から無作為に選んだ20歳以上の3,000人の方々に記入をお願いするものです。

今回お答えいただきました内容は，統計的に処理いたしますので，ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

何かとご多忙のこととは存じますが，本調査の趣旨をご理解のうえ，アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成22年5月

京都市長 門川 大作

政策評価 = 政策の目的がどの程度達成されているかを評価し，市民の皆様にお示しするとともに，次の政策，施策の展開に役立てる仕組み

ご記入いただきましたら，お手数ですが，同封の返信用封筒（切手不要）に入れて5月 日（ ）までに投函をお願いいたします。

この調査に関するお問い合わせは，下記までお願いいたします。

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市総合企画局政策企画室 「京都市市民生活実感調査担当」

電話 075-222-3035 FAX 075-212 2902

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/○○○○○○○○.html>

（アンケート調査票は設問数が多いため，2つに分けて実施しています。すべての設問は上記ホームページからご覧いただくことができます。）

記入方法，記入例は裏面をご覧ください。

# 記入方法

アンケート調査をお願いしたご本人（封筒の宛先となっている方）がお答えください。  
直接調査票に記入してください。

アンケート調査票、返信用封筒には、お名前や住所を記入していただく必要はございません。  
アンケートは「生活実感」、「政策重要度」、「市政関心度」、「自由記述」に分かれています。

「生活実感」（1 ページから 4 ページ）

- ・ 質問ごとに、あなたの実感やイメージに基づき、5つの選択肢の中から1つ選んで を付けてください。
- ・ 質問の内容が分からない場合は、空欄のままにしてください。

「政策重要度」（5 ページ）

重要と思われる政策について、5つまで選んで を付けてください。

「市政関心度」（6 ページ）

市政の関心度について、1つ選んで を付けてください。

「自由記述」（6 ページ）

市に望むこと、アンケートに関することについて、ご意見・ご提案がございましたらご記入ください。

## 記入例

生活実感

実感やイメージでお答えください。

分からない場合は何も印を  
していただくなくて結構です。

京都市の施策 〔京都市の 行政活動の目標〕	質 問	選 択 肢				
		そう 思う	どちらか という と思う	どちら とも言 えない	どちらか という そう 思わ ない	そう 思わ ない
日々のくらしのなかに 人権を大切にし、尊重し 合う習慣が根付いた 「人権文化」の構築	Q 1 . 京都は普段の生活の中で「人権」 を大切にし、尊重し合う習慣が 根付いている。	a	b	c	d	e
子どもの人権の尊重	Q 2 . 一人一人の子どもの人格が大切 にされ、子どもの権利が守られ ている社会である。	a	b	c	d	e
障害のあるひとの人権の 尊重	Q 3 . 障害のあるひとが、様々な面で 暮らしやすいまちになってきて いる。	a	b	c	d	e
多文化共生社会の実現	Q 4 . 国籍、民族、文化等が違って もお互いに理解し合い、共生する 社会になってきている。	a	b	c	d	e
だれもがずっと くらし続けたい すまい・まちづくり	Q 5 . 今住んでいる住宅や周りの環境 には満足している。	a	b	c	d	e

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
日々のくらしのなかに 人権を大切にし、尊重し 合う習慣が根付いた 「人権文化」の構築	Q 1 . 京都は普段の生活の中で「人 権」を大切にし、尊重し合う 習慣が根付いている。	a	b	c	d	e
子どもの人権の尊重	Q 2 . 一人一人の子どもの人格が大 切にされ、子どもの権利が守 られている社会である。	a	b	c	d	e
障害のあるひとの人権の 尊重	Q 3 . 障害のあるひとが、様々な面 で暮らしやすいまちになって きている。	a	b	c	d	e
多文化共生社会の実現	Q 4 . 国籍、民族、文化等が違って もお互いに理解し合い、共生 する社会になってきている。	a	b	c	d	e
だれもがずっと くらし続けたい すまい・まちづくり	Q 5 . 今住んでいる住宅や周りの環 境には満足している。	a	b	c	d	e
高齢者や障害のあるひと の能力向上や働く場の確 保	Q 6 . 高齢者や障害のあるひとの働 く場が確保されている。	a	b	c	d	e
学校と家庭・地域の連携	Q 7 . 学校と家庭・地域が一体とな って子どもたちを見守ってい る。	a	b	c	d	e
障害のある子どもの 教育の推進	Q 8 . 障害のある子どもの状況に応 じた教育が行われている。	a	b	c	d	e
ゆとりと潤いのある 学習環境づくり	Q 9 . 最近の学校は施設や設備が充 実している。	a	b	c	d	e
高齢者とその家族の生活 を支えるサービスの充実	Q 10 . 高齢者とその家族を支えるホ ームヘルプ（訪問介護）など のサービスが充実している。	a	b	c	d	e
母と子のいのち・健康を 守る保健医療の充実	Q 11 . 子どもを産み育てるときに、 気兼ねなく健康相談を受け たり、病院にも行けるなど、安 心である。	a	b	c	d	e
障害のある子どもや 養護に欠ける子どもの 子育て支援	Q 12 . 障害のある子どもや保護者の 養護が足りない子どもに対す る子育て支援が十分に行われ ている。	a	b	c	d	e
子どもたちがのびのびと 健やかに成長できる しくみづくり	Q 13 . 子どもの居場所や遊び場所が あるので、様々な体験ができ る。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の 行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言え ない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
市民の健康をしっかりと 守る取組の推進	Q 1 4 . 医薬品の副作用や食中毒，感 染症など健康に関する情報が 手に入れやすい。	a	b	c	d	e
精神保健・医療・福祉 サービスを支える体制の 整備	Q 1 5 . 精神に障害のある人への保健， 医療，福祉サービスが充実し ている。	a	b	c	d	e
スポーツ活動の機会や 施設に恵まれた まちづくり	Q 1 6 . 地域において，気軽にスポー ツを楽しむ機会がある。	a	b	c	d	e
環境と共生するくらしの 実現	Q 1 7 . 「きれいな空気，清らかな川， 静かなまち」など，よい環境 が保たれている。	a	b	c	d	e
京都のまちの特色に配慮 した災害に強い まちづくり	Q 1 8 . 建物の耐震対策や防火水槽の 設置などにより，まち全体の 防災機能は高くなってきてい る。	a	b	c	d	e
市民のくらしと豊かな文 化・歴史の蓄積を守る災 害に強い組織づくり	Q 1 9 . 地域の自主防災組織があるの で，災害から身を守るために， 住民同士協力しあえるようにな ってきている。	a	b	c	d	e
消費者が自立し安心して くらせるまちづくり	Q 2 0 . 情報提供や啓発活動などによ り，消費者被害に遭わないた めの知識が備わってきた。	a	b	c	d	e
歩くまちの歩行空間の形 成と自転車利用の促進	Q 2 1 . 歩道の電柱や段差がなくなる など快適になった。	a	b	c	d	e
歩くまちをつくる新しい 交通政策の推進 新しい交通政策の確立	Q 2 2 . 公共交通機関を利用する人が 増えている。	a	b	c	d	e
個性的で美しい景観の形 成	Q 2 3 . 京都の個性的なまちなみ景観 が守られている。	a	b	c	d	e
木の文化が息づく まちづくり	Q 2 4 . まちなかには文化を感じさせ る木造建築がきちんと残って いる。	a	b	c	d	e
市民文化の振興	Q 2 5 . 市民の文化活動が盛んである。	a	b	c	d	e
豊かな文化資源を生かし た芸術文化の振興	Q 2 6 . 京都ならではの文化資源を生 かした文化・芸術活動が盛ん である。	a	b	c	d	e
文化と観光・産業の連携	Q 2 7 . 観光や産業振興に文化資源が うまく活用されている。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の 行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
都市の活力を生む多様な 交流の推進	Q 2 8 . 関西圏での連携や周りの都市 との交流が行われているので、 京都のまちに活気が生まれて いる。	a	b	c	d	e
時代に応じた学習関連 施設の充実	Q 2 9 . 図書館や色々な博物館など、 いつでも学べるような環境が 整っている。	a	b	c	d	e
京都独自の新たな 産業関連都市の構築	Q 3 0 . 京都の特色を生かした産業活 動が活発に行われている。	a	b	c	d	e
地域に密着した商業の 振興	Q 3 1 . 市内の買物環境に満足してい る。	a	b	c	d	e
2 1 世紀の京都を牽引 する観光の創造	Q 3 2 . 寺院，神社でのライトアップ など，新たな観光資源の開発 が活発である。	a	b	c	d	e
海外からの観光客誘致の 強化	Q 3 3 . 京都は海外からの観光客にと って魅力的な都市である。	a	b	c	d	e
観光客を温かくもてなす しくみづくり	Q 3 4 . 京都は観光客を温かくもてな すまちである。	a	b	c	d	e
京都をあげての観光振興 の推進						
産学公の連携の推進	Q 3 5 . 大学の人材・研究成果は産業 活動に役立っている。	a	b	c	d	e
大学施設整備への支援	Q 3 6 . 京都の大学は，施設や環境が 充実している。	a	b	c	d	e
産業や文化など若者の 活躍の場づくり	Q 3 7 . ベンチャー企業支援や若者企 画のイベントなど，京都は若 者が活躍できる場である。	a	b	c	d	e
保全・再生・創造を基調 とするまちづくり	Q 3 8 . 美しい自然や町並みが保たれ ている一方，南部地域には企 業が集積するなど，多様なま ちづくりが進んでいる。	a	b	c	d	e
まちづくりを支える しくみづくり	Q 3 9 . 景観や住環境を守るための住 民によるまちづくり活動が盛 んになってきている。	a	b	c	d	e
都市圏内の交流を支える 交通網の充実	Q 4 0 . 鉄道網や道路網が発達してい るので，近隣の都市へ出かけ るのに便利だ。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の 行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
高度情報通信社会に 対応するための基盤整備	Q 4 1 . インターネットをはじめとした情報通信技術（ I T ）をだれもが利用しやすい。	a	b	c	d	e
情報基盤を活用した 企業活動の支援	Q 4 2 . 企業の I T 化は十分進んでいる。	a	b	c	d	e
高齢者や障害のあるひと への高度情報化による 支援	Q 4 3 . 情報通信技術は高齢者や障害のあるひとの社会参加に役立っている。	a	b	c	d	e
市民の目線での市政情報 の提供や公開	Q 4 4 . 市民しんぶんやその他の市政広報は、くらしの役に立つ情報が掲載されている。	a	b	c	d	e
市民とともに政策を 企画・実施・評価してい くための情報の共有	Q 4 5 . 市政に参加したいと思ったときに、必要な情報を得やすい。	a	b	c	d	e
個性ある政策を形成する ための条件整備	Q 4 6 . 京都独自の政策が打ち出されている。	a	b	c	d	e
新たな発想・手法を取り 入れた行政運営の推進	Q 4 7 . 役所の仕事ぶりは、以前よりも良くなった。	a	b	c	d	e
公共事業の再評価	Q 4 8 . 公共事業の再評価によって事業の点検がしっかりできている。	a	b	c	d	e
区役所の総合庁舎化	Q 4 9 . 区役所で保健や福祉のサービスも利用できるなど、便利になった。	a	b	c	d	e

## 政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、**5つまで選んで「 欄」**に を付けてください。

分野・政策名	欄	分野・政策名	欄
1 <b>人権文化</b> [ひとりひとりが個人として厚く尊重される]		15 <b>生涯学習</b> [生涯にわたってみずからを磨き高める]	
2 <b>住環境</b> [すべてのひとがいいきと活動する]		16 <b>産業</b> [産業関連都市として独自の産業システムをもつ]	
3 <b>しごと</b> [すべてのひとがいいきと活動する]		17 <b>観光</b> [魅力ある観光を創造する]	
4 <b>学校教育</b> [子どもたちが心豊かで社会性を身につけみずからの生き方を学ぶ]		18 <b>大学</b> [大学の集積・交流が新たな活力を生み出す]	
5 <b>福祉</b> [すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす]		19 <b>青少年</b> [若者が集い能力を発揮する]	
6 <b>子育て</b> [子どもを安心して産み育てる]		20 <b>個性と魅力あるまちづくり</b> [個性と魅力あるまちづくり]	
7 <b>健康（保健・医療，スポーツ）</b> [心身ともに健やかにくらす]		21 <b>交通基盤</b> [多様な都市活動を支える交通基盤づくり]	
8 <b>環境</b> [環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる]		22 <b>高度情報化</b> [高度情報通信社会に対応できる基盤づくり]	
9 <b>消防・防災</b> [災害に強く日々のくらしの場を安全にする]		23 <b>情報公開</b> [情報を市民と共有する]	
10 <b>生活安全（犯罪・事故，消費生活）</b> [日常生活における身近な安全や安心を確保する]		24 <b>市民参加</b> [市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する]	
11 <b>歩いて楽しいまちづくり</b> [歩いて楽しいまちをつくる]		25 <b>市政改革</b> [市民とともに政策を実施する]	
12 <b>美しいまちづくり</b> [美しいまちをつくる]		26 <b>行政評価</b> [市民とともに政策を評価して市政運営に生かす]	
13 <b>文化</b> [成熟した文化が実現する]		27 <b>区役所を拠点とする地域づくり</b> [個性を生かした魅力ある地域づくりを進める]	
14 <b>国際交流</b> [国内外との多彩な交流を行う]			

[ ]は、京都市基本計画の政策項目です。



## 京都市市民生活実感調査 調査票

## 生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
男女がともに自立，参画， 創造する男女共同参画社 会の実現	Q 1 . 男女が個人として尊重され， 共に個性や能力を発揮できる 社会になってきている。	a	b	c	d	e
高齢者の人権の尊重	Q 2 . 高齢者の知識や経験が尊重さ れ，権利が守られている社会 である。	a	b	c	d	e
特別施策としての同和対 策事業の終結とその後の 取組	Q 3 . 生まれや生い立ちに関係なく， すべての人がいきいきと暮ら せる社会になってきている。	a	b	c	d	e
現代社会における多様な 人権問題への対応	Q 4 . HIV感染者やハンセン病患 者，刑を終えて出所した人， ホームレスなど，現代社会の 様々な人権問題について，市 民の正しい理解と認識は高ま っている。	a	b	c	d	e
高齢者や障害のあるひと が積極的に社会参加でき る機会の提供	Q 5 . 高齢者や障害のあるひとが社 会参加できる機会が十分あ る。	a	b	c	d	e
だれもがいきいきと 働けるまちづくり	Q 6 だれもがいきいきと働ける場 を得る機会がある。	a	b	c	d	e
子どもたちの社会性を 高める教育の推進	Q 7 . ボランティア活動などで，子 どもの社会性が高まっている。 。	a	b	c	d	e
教職員の能力・意識の 向上	Q 8 . 学校の先生は熱心に取り組ん でいる。	a	b	c	d	e
住み慣れた地域のなかで 支え合い安心して くらするしくみづくり	Q 9 . 万が一のことがあっても地域 で支えあう仕組みがあるの で，安心である。	a	b	c	d	e
障害のあるひとと その家族を支える サービスの充実	Q 10 . 障害のあるひとやその家族を 支えるホームヘルプ（訪問介 護）などのサービスが充実し ている。	a	b	c	d	e
安心して子育てができる 保育サービス等の提供	Q 11 . 子育て家庭のニーズに応じた 保育サービスが充実してい る。	a	b	c	d	e
子育ての支援を求める 家庭への応援体制の構築	Q 12 . 子育てに不安を感じたときに 気軽に相談できるところがあ るので，心強い。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも言 えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
市民ひとりひとりの健康の増進	Q 1 3 . 正しい情報を基に，健康づくりに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
保健医療施策の計画的な推進						
保健医療サービスを支える体制の整備	Q 1 4 . 利用しやすく頼れる医療や検査などの機関がある。	a	b	c	d	e
生活衛生の推進	Q 1 5 . 保健所などによる業者への監視や指導があるので，食品や住まいの衛生などに不安を感じることはない。	a	b	c	d	e
「京（みやこ）のアジェンダ21フォーラム」を核とした環境問題への取組	Q 1 6 . 省エネや省資源に取り組むお店や買い物客，公共交通機関を利用する人が増えている。	a	b	c	d	e
廃棄物を出さない循環型社会の構築	Q 1 7 . ごみの減量，分別収集や集団回収などに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
災害から身を守る知恵や力をつける災害に強いひとづくり	Q 1 8 . 防災情報，防災訓練などによって，災害から身を守る知識が備わってきた。	a	b	c	d	e
犯罪や事故のない安全なまちづくり	Q 1 9 . 自治会などの事故や犯罪を防ぐ取組により，安心して暮らせるまちである。	a	b	c	d	e
歩く魅力のあるまちづくり	Q 2 0 . 京都は，まちの美しさや賑わいなどにより，歩いて楽しいまちである。	a	b	c	d	e
歩くまちを支える公共交通の充実	Q 2 1 . まちなかの移動にはバスや鉄道が便利である。	a	b	c	d	e
市民，事業者と一体となったまちの美化の推進	Q 2 2 . まちに散乱ごみが少なくなってきた。	a	b	c	d	e
水と緑を生かしたまちづくり	Q 2 3 . 京都は水と緑をうまく生かしたまちである。	a	b	c	d	e
文化の創造・発信に向けた総合的な取組の推進	Q 2 4 . 京都では文化・芸術活動が盛んである。	a	b	c	d	e
多彩な芸術文化交流の推進						
芸術文化の新たな担い手の育成	Q 2 5 . 京都では多くの若い芸術家が育っている。	a	b	c	d	e
文化財保護の推進	Q 2 6 . 京都では文化財に親しむ機会が多い。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも言 えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
多彩な国際交流の推進	Q 2 7 . 京都では市民レベルでの様々な国際交流が盛んである。	a	b	c	d	e
京都の特性を生かした国際協力の推進						
多彩な学習機会の確保・提供	Q 2 8 . 大学や神社仏閣，博物館など京都ならではの様々な学習機会に恵まれている。	a	b	c	d	e
新たな学習支援のしくみづくり						
世代を越えてともに学ぶ地域づくり	Q 2 9 . 学校や地域での取組など，幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	a	b	c	d	e
活力ある産業活動への支援	Q 3 0 . 京都はものづくりが活発に行われている。	a	b	c	d	e
市民に身近で環境にやさしい都市農林業の育成	Q 3 1 . 京野菜や北山杉など，京都の農林業は魅力的である。	a	b	c	d	e
観光情報の受発信と観光客誘致の強化	Q 3 2 . 京都は様々な方法で観光客をうまく呼んでいる。	a	b	c	d	e
コンベンション誘致の強化	Q 3 3 . 京都は国際会議などが盛んに開かれる都市である。	a	b	c	d	e
個性豊かな大学の集積を生かした交流の場づくり	Q 3 4 . 京都は，大学間の交流が盛んであるなど，「大学のまち」として魅力がある。	a	b	c	d	e
地域に開かれた大学づくりの促進	Q 3 5 . 市民向け公開講座や地域との交流など，大学が身近に感じられる。	a	b	c	d	e
大学・学術研究機関の振興	Q 3 6 . 京都にある大学や学術研究機関は多くの人材を育成したり研究成果をあげたりしている。	a	b	c	d	e
若者の活動拠点の整備と社会参加・自主的活動の支援	Q 3 7 . 若者が活動する場や情報が十分提供されている。	a	b	c	d	e
多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり	Q 3 8 . 鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。	a	b	c	d	e
都市内の交通網の整備	Q 3 9 . 市内の道路は安全・快適である。	a	b	c	d	e
歩くまちにふさわしい道路網の整備						

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
広域交通網の充実	Q 4 0 . 京都は交通網が充実しているので、外国や国内各地との行き来がしやすいまちだ。	a	b	c	d	e
デジタルアーカイブ( ) の推進	Q 4 1 . デジタル化により美術品や歴史的資料が文化や産業に活かされている。	a	b	c	d	e
観光における高度情報化 の推進	Q 4 2 . 京都市内の観光情報がインターネットに掲載されているので、観光客にとって便利である。	a	b	c	d	e
情報教育の充実	Q 4 3 . 子どもたちに対して、時代に合った情報教育ができてい	a	b	c	d	e
行政の高度情報化の推進	Q 4 4 . 市役所や区役所のIT化が進み、公共サービスが便利になった。	a	b	c	d	e
市民との対話による双方向性の確保	Q 4 5 . 市の方針や仕事の内容について、市の職員から説明を受け、意見交換ができる機会や場が十分ある。	a	b	c	d	e
市民が政策形成に参画 できるしくみづくり	Q 4 6 . 市の方針や仕事の内容について、企画段階から市民が意見を言う機会が十分ある。	a	b	c	d	e
市民との協働による政策 の推進	Q 4 7 . 多様な事業やイベントなどにおいて、市民や行政が力を合わせて取り組む機会が十分ある。	a	b	c	d	e
市民とともに 行う評価の しくみづくり	Q 4 8 . このアンケートなど、市民が市の仕事を評価する仕組みが整っている。	a	b	c	d	e
魅力ある地域づくりの 拠点としての区役所機能 の強化	Q 4 9 . 身近な暮らしの相談ができるなど、区役所は頼りになる。	a	b	c	d	e
新市庁舎の整備	Q 5 0 . 新市庁舎ができることで、市役所が、市民に開かれたすべての人にやさしい施設になることが期待できる。	a	b	c	d	e

デジタルアーカイブ 文化・学術・産業等、さまざまな「財」をデジタル技術で蓄積し、あらゆるひとが自由に利用できる環境を整えること。その対象は、絵画や美術工芸品から伝統産業や芸術を支える技術まで多岐にわたる。

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、5つまで選んで「欄」に を付けてください。

分野・政策名	欄	分野・政策名	欄
1 人権文化 [ひとりひとりが個人として厚く尊重される]		15 生涯学習 [生涯にわたってみずからを磨き高める]	
2 住環境 [すべてのひとがいいきと活動する]		16 産業 [産業関連都市として独自の産業システムをもつ]	
3 しごと [すべてのひとがいいきと活動する]		17 観光 [魅力ある観光を創造する]	
4 学校教育 [子どもたちが心豊かで社会性を身につけみずからの生き方を学ぶ]		18 大学 [大学の集積・交流が新たな活力を生み出す]	
5 福祉 [すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす]		19 青少年 [若者が集い能力を発揮する]	
6 子育て [子どもを安心して産み育てる]		20 個性と魅力あるまちづくり [個性と魅力あるまちづくり]	
7 健康（保健・医療，スポーツ） [心身ともに健やかにくらす]		21 交通基盤 [多様な都市活動を支える交通基盤づくり]	
8 環境 [環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる]		22 高度情報化 [高度情報通信社会に対応できる基盤づくり]	
9 消防・防災 [災害に強く日々のくらしの場を安全にする]		23 情報公開 [情報を市民と共有する]	
10 生活安全（犯罪・事故，消費生活） [日常生活における身近な安全や安心を確保する]		24 市民参加 [市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する]	
11 歩いて楽しいまちづくり [歩いて楽しいまちをつくる]		25 市政改革 [市民とともに政策を実施する]	
12 美しいまちづくり [美しいまちをつくる]		26 行政評価 [市民とともに政策を評価して市政運営に生かす]	
13 文化 [成熟した文化が実現する]		27 区役所を拠点とする地域づくり [個性を生かした魅力ある地域づくりを進める]	
14 国際交流 [国内外との多彩な交流を行う]			

[ ]は、京都市基本計画の政策項目です。



## 資料 3 の参考資料

( ページ )

参考資料 - 1	京都市基本計画策定方針	...	1
- 2	分野別方針（素案）イメージ	...	3
- 3	京都市の政策評価制度のこれまでの歩み	...	5

## 京都市基本計画策定方針

## 1 策定の趣旨

本市は、平成13(2001)年から25年間のまちづくりの方針を理念的に示す「京都市基本構想」の下、今日的な社会経済情勢を踏まえ、地域主権時代のモデル都市を目指した今後10年間の京都の未来像と主要政策を明示する都市経営の基本となる計画として、次期京都市基本計画(以下「基本計画」という。)を策定する。

不透明感の強い混迷の時代にあって、未来の京都の在るべき姿、京都の選択を大局的かつ的確に分かりやすく示すことによって、「共汗」と「融合」をキーワードに、市民と行政とが目標、責任、行動を共有することが求められている。このため、基本計画は、単なる「行政計画」ではなく、市民と行政とが役割分担し、協働する「共汗型計画」として策定する。

策定に当たっては、「徹底した市民参加と徹底した職員参加」、「徹底した未来志向」、「実現に向けた道筋を描く徹底した戦略性の追求」を重点とする。

また、京都市基本構想の下での同列・補完の関係にある各区基本計画と、十分な整合と連携を図る。

## 2 基本計画の構成

## (1) 基本計画の期間

基本計画の期間は、平成23年度から10年間とする。

## (2) 基本計画の名称

「共汗型計画」として、市民と共有する親しみやすい名称を、公募により定める。

## (3) 基本計画の構成

「未来の京都創造研究会」報告書を踏まえ、次の構成を基本とする。

## 基本方針

- ・ 基本計画の在り方
- ・ 都市経営の理念
- ・ 検討の視点・背景

## 京都の未来像と重点戦略

## 分野別方針

## 行政経営の大綱

## 基本計画の推進体制や点検・評価の方法

### 3 基本計画の策定体制

#### (1) 京都市基本計画審議会の設置

学識者をはじめ，各種団体の代表者や公募による市民など各界各層の方々に構成される京都市基本計画審議会（以下「審議会」という。）を設置し，徹底した議論により知恵と汗で基本計画案を練り上げる。

審議会には，基本方針及び京都の未来像と重点戦略などを審議するため，「融合委員会」を設置する。

また，効率的に議論を行うため，4つの「共汗部会」を設置する。

- ・ うるおい部会：環境，市民生活，文化など
- ・ 活性化部会：産業，観光，行政経営など
- ・ すこやか部会：福祉，保健，教育など
- ・ まちづくり部会：都市計画，住環境，都市基盤など

#### (2) 庁内の策定体制

京都市基本計画策定推進本部を設置し，共汗と融合の視点に立つ全庁を挙げた徹底した議論を行うとともに，活発な審議会運営に向けた審議材料の作成など適切な対応を行う。

#### (3) 市民参加，市会での審議

「未来の京都創造研究会」からの報告や「1万2千人市民アンケート」の結果をはじめ，設置予定の「未来の担い手・若者会議U35」の意見や基本計画案に対するパブリック・コメントなどの市民意見を最大限に反映させる。

策定過程の節目において市会へ検討状況を報告し，市会における十分な審議の結果を，計画の策定に反映させる。

#### (4) 策定の時期

審議会から答申を受け，平成22年中に市会の議決を得て策定する。

分野数  
組織のマネジメントに活用しやすいよう、原則として各局の部・室を単位に次の25分野（政策評価の対象単位）を基本とする。

うるおい部会(6)	活性化部会(5)	すこやか部会(7)	まちづくり部会(7)
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境</li> <li>人権・男女共同参画社会</li> <li>青少年対策</li> <li>市民生活</li> <li>文化</li> <li>スポーツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業・商業</li> <li>農林業</li> <li>観光</li> <li>大学</li> <li>国際化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援</li> <li>障害者福祉</li> <li>地域福祉</li> <li>高齢者福祉</li> <li>保健医療</li> <li>学校教育</li> <li>生涯学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市づくり</li> <li>景観</li> <li>都市基盤</li> <li>住宅</li> <li>歩くまち</li> <li>消防・防災・都市づくり(建築物の安心安全)</li> <li>くらしの水</li> </ul>

分野別方針（素案）イメージ

分野別方針  
（分野名）  
～ キャッチフレーズ～

- 【記載事項】
- 当該分野で目指すべき方向性などを端的に示すキャッチフレーズを記載
- 【作成方法】
- 分野別計画に掲げた目標等から素案を作成し、第5回共汗部会で審議

基本方針

- 【記載事項】
- 現状と課題を踏まえ、キャッチフレーズに掲げた方向性の実現に向け今後10年間で取り組むべき方向性（基本的考え、価値観等）を記載
- 【作成方法】
- 委員意見をはじめ、分野別計画等を踏まえて素案を作成し、第5回共汗部会で審議

現状・課題（政策の背景）

- 【記載事項】
- 当該分野の現状と課題を端的に記載
  - 現状については、統計データ等の客観的な数値を示しつつ、これまでの動向、将来の傾向などを記載
  - 併せて今後取り組むべき課題を記載
  - 可能な限り現状や課題に関するデータ、グラフ、写真等を記載
- 【作成方法】
- 第2回～4回共汗部会提示資料の「現状と課題」をベースに委員意見を踏まえて素案を作成し、第5回共汗部会で審議

現状と課題関連グラフ、写真等

現状と課題関連グラフ、写真等

現状と課題関連グラフ、写真等

現状と課題関連グラフ、写真等

政策の目標

< みんなで目指す10年後の姿 >

- 【記載事項】
- 市民と行政が共汗で実現する10年後のあるべき姿（政策が実現した状態）を記載
  - 語尾は「...となっている。」とする
- 【作成方法】
- 委員意見をはじめ、分野別計画等を踏まえて素案を作成し、第5回共汗部会で審議

- 【記載事項】
- 「みんなで目指す10年後の姿」に対応し、その達成度合い（政策の最終の成果（最終アウトカム）に着目した定量的なもの）を示す象徴的な指標を3～5程度記載
  - 指標には現況値と10年後に実現すべき目標値を記載（現況値は最新時点のものを記載。なお、パブリック・コメント等の節目で時点修正）

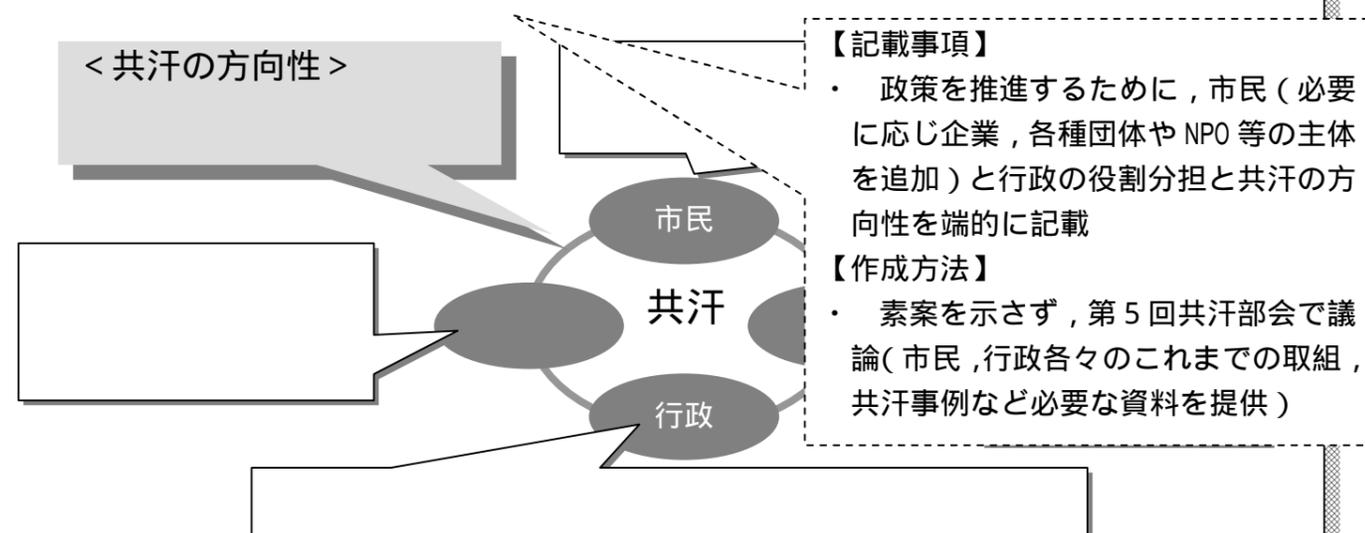
- 【作成方法】
- 委員意見をはじめ、分野別計画等を踏まえて素案を作成し、第5回共汗部会で審議

< 政策指標 >

	指標	現況値	目標値
1			
2			
3			
4			

市民と行政の役割分担と共汗

< 共汗の方向性 >



第1次案（4月作成予定）として公表

## 第2次案に記載（第6回～第8回共汗部会で議論）

### 推進施策

#### 【記載事項】

- ・ 政策目標を達成するための取組を簡潔に記載  
原則として「手段」としての個別の事業は掲載しない。

#### 【作成方法】

- ・ 分野別計画や委員意見等を踏まえて作成

#### < 施策指標 >

#### 【記載事項】

- ・ 施策ごとに政策の実現に向けた中間的成果（中間アウトカム）に着目した指標を記載（  
目標値は実施計画や分野別計画にゆだねるため記載しない）

#### 【作成方法】

- ・ 委員意見をはじめ、分野別計画等を踏まえて作成

### 関連する分野別計画

#### 【記載事項】

- ・ 当該分野に関連する分野別計画名を記載

## 京都市の政策評価制度のこれまでの歩み

### 1 本格実施までの取組経過

- 平成13年度 制度の構築に向け、市内での検討に着手  
 平成14年7月 「京都市政策・施策評価制度検討委員会」を設置し、制度の  
 在り方について諮問（平成14年度中に5回開催）  
 平成15年3月 同委員会から答申  
 平成15年度 試行実施  
 平成16年度 本格実施

### 2 これまでの主な改善内容

#### (1) 市民生活実感調査の改善

- ・ 分かりやすさと情報量の維持を両立しつつ、調査票のページ数を削減
- ・ 送信用封筒が目立つように色付け

平成16年度	19年度	平成21年度
1,237 / 41.2%	972 / 32.4%	1,272 / 42.4%

回収数 / 回答率

#### (2) 客観指標指標の改善

##### ア 目標値の設定

平成16年度			平成21年度		
指標数	目標値を設定して評価する指標数	設定率	指標数	目標値を設定して評価する指標数	設定率
387	86	22.2%	414	407	98.3%

##### イ 1施策当たりの指標数の確保（1施策当たり3指標以上を目標）

平成16年度		平成21年度	
客観指標が1つの施策	客観指標指標が2つの施策	客観指標が1つの施策	客観指標指標が2つの施策
9施策	21施策	0施策	5施策

##### ウ 施策の評価における「重み付け」の基準の設定

「客観指標評価」と「市民生活実感評価」の結果が異なる場合、どちらを重視するかをルール化

##### エ 客観指標マニュアルの作成

#### (3) 評価票の改善

- 別紙を参照

#### (4) 評価結果の公表等の改善

- ア 評価結果リーフレットの発行
- イ 評価結果[点字版]の作成
- ウ 政策評価についてのクイズコーナーを市ホームページに掲載

すっきりとした箱書き形式に一新！

政策・施策評価票の改善例（政策評価）

Before【平成18年度】

政策の評価票

政策 ひとりひとりが個人として厚く尊重される

※（ ）は昨年の評価結果を表しています。

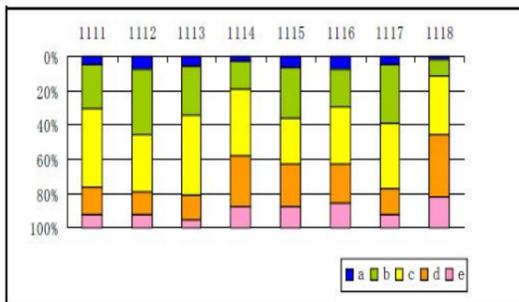
方向 日々のくらしのなかに入権を大切に、尊重し合う習慣が根付いた「人権文化」を築いていくことにより、子ども高齢者も、女性も男性も、障害のあるひともないひと、また国籍や民族、生まれや生い立ちに関係なく、すべてのひとがいきいきと暮らせるまちをめざす。

評価 C (c) 客観指標については、全8項目のうち人権侵害事件受理件数など2項目でa評価であるが、保育所待機児童数など5項目でd又はe評価であり、全体として昨年度を下回り、どちらも言えない状況である。市民生活実感についても、人権尊重に関する全8項目のうち6項目でC評価であり、どちらも言えない状況である。客観指標評価及び市民生活実感評価を総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。

○政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価 C (b)

1111 人権侵害事件受理件数(件)	545 a(-)
1112 保育所の待機児童数(人)	271 d(b)
1113 虐待相談に対して速やかに対応(48時間以内)した件数の割合(%)	94 d(c)
1114 長寿すこやかセンターにおける権利擁護相談件数(件)	84 d(b)
1115 障害者社会参加促進事業参加者数(人)	11247 e(c)
1116 同和問題についての理解度(結婚問題)(%)	64.3 c(-)
1117 審議会等への外国籍市民委員の参加数(人)	15 a(d)
1118 人権擁護に関する制度の認知度(%)	34.4 d(-)

○市民生活実感評価 C (c)



1111 京都が普段の生活の中で「人権」を大切に、尊重し合う習慣が根付いている。	c (c)
1112 男女が個人として尊重され、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている。	c (c)
1113 一人一人の子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られている社会である。	c (c)
1114 高齢者の知識や経験が尊重され、権利が守られている社会である。	d (c)
1115 障害のある人が、様々な面で暮らしやすいまちになってきている。	c (c)
1116 生まれや生い立ちに関係なく、すべての人がいきいきと暮らせる社会になってきている。	c (d)
1117 国籍、民族、文化等が違ってもお互いに理解し合い、共生する社会になってきている。	c (c)
1118 HIV感染者やハンセン病患者、刑を終えて出所した人、ホームレスなど、現代社会の様々な人権問題について、市民の正しい理解と認識は高まっている。	d (d)

After

「政策の重要度」(大切と思われる政策を5つまで市民が選択した結果)欄を新設！

過去2年間の評価結果と比較！

政策番号 政策名 1111 ひとりひとりが個人として厚く尊重される

政策の方向 日々のくらしのなかに入権を大切に、尊重し合う習慣が根付いた「人権文化」を築いていくことにより、子ども高齢者も、女性も男性も、障害のあるひともないひと、また国籍や民族、生まれや生い立ちに関係なく、すべてのひとがいきいきと暮らせるまちをめざす。

政策の評価

1 政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価

施策番号	客観指標名	19年度	20年度	21年度
1111	人権擁護に関する制度の認知度(%)	34.4 d	34.4 d	34.4 d
1112	審議会等における女性委員の登用率(%)	30.2 c	30.1 c	30.5 c
1113	虐待相談に対して速やかに対応(48時間以内)した件数の割合(%)	98.0 b	96.6 c	94.7 d
1114	長寿すこやかセンターにおける権利擁護相談件数(件)	800 -	718 c	638 d
1115	障害者社会参加促進事業参加者数(人)	8,972 d	8,447 b	8,895 d
1116	同和問題についての理解度(結婚問題)(%)	64.3 c	64.3 c	64.3 c
1117	審議会等への外国籍市民委員の参加数(人)	13 b	18 a	19 a
1118	人権侵害事件受理件数(件)	614 a	713 a	701 b

客観指標総合評価 c b c

2 政策を構成する施策に対する市民生活実感評価

施策番号	説明	19年度	20年度	21年度
1111	京都が普段の生活の中で「人権」を大切に、尊重し合う習慣が根付いている。	c	c	c
1112	男女が個人として尊重され、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている。	c	c	b
1113	一人一人の子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られている社会である。	c	c	b
1114	高齢者の知識や経験が尊重され、権利が守られている社会である。	d	d	c
1115	障害のある人が、様々な面で暮らしやすいまちになってきている。	c	c	c
1116	生まれや生い立ちに関係なく、すべての人がいきいきと暮らせる社会になってきている。	c	c	c
1117	国籍、民族、文化等が違ってもお互いに理解し合い、共生する社会になってきている。	c	c	b
1118	HIV感染者やハンセン病患者、刑を終えて出所した人、ホームレスなど、現代社会の様々な人権問題について、市民の正しい理解と認識は高まっている。	d	d	d

過去2年間の評価結果と比較！

3 総合評価(市民生活実感総合評価+客観指標総合評価)

19年度	C
20年度	C

4 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

19年度		20年度		21年度	
順位	%	順位	%	順位	%
13	15.8%	11	16.8%	10	16.7%

5 原因分析・今後の方向性

・総合評価は、昨年度に引き続きC評価と評価された。客観指標では、人権侵害事件受理件数や障害者に対する物理的・制度的・心理的障害がなく、障害のあるひとと同じ生活を送ることができる社会を構築する。特別施策としての同和対策事業を終結するとともに、残る諸課題については一般施策により取組を進め、様々な人が交流、共生する地域社会づくりを進める。

・市民生活実感では、人権尊重に関する全8項目のうち6項目でC評価であり、どちらも言えない状況である。こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。

・今後とも、人権教育・啓発活動や情報提供を進め、市民の関心を高めていく必要がある。また、「同和行政終結後の行政の在り方総点検委員会」の報告に基づき、必要な改革・見直しを着実に実施し、市民の皆様とともに同和問題の真の解決を図ることも重要である。

「原因分析・今後の方向性」欄を新設して説明責任を強化！

(参考) この政策を実現するための施策とその総合評価

施策番号	施策名	19年度	20年度	21年度
1111	「人権文化」の構築	C	C	C
1112	男女がともに自立、参画、創造する男女共同参画社会の実現	C	C	B
1115	障害のあるひとに対する物理的、制度的、心理的障害がなく、障害のあるひとと同じ生活を送ることができる社会を構築する。	C	C	C
1116	特別施策としての同和対策事業を終結するとともに、残る諸課題については一般施策により取組を進め、様々な人が交流、共生する地域社会づくりを進める。	C	C	C
1117	多文化共生社会の実現	B	B	B
1118	現代社会における多様な人権問題への対応	C	D	D

この政策を実現するための施策とその総合評価を記載し、政策と施策の関係を明確に！

過去2年間の評価結果と比較！

参考資料3

政策・施策評価票の改善例（施策評価）

すっきりとした箱書き形式に一新！

Before【平成18年度】

施策の評価票

施策名 日々のくらしのなかに人権を大切に、尊重し合う習慣が根付いた「人権文化」の構築

1111 所管局: 文化市民局 共管局: なし

概要 人権尊重の考え方が日常生活に根付いた社会の構築を目指す。

総合評価 C (c) 客観指標評価は指標によりばらつきがあり、全体としてはどちらとも言えない。市民の生活実感もどちらとも言えないことから、施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

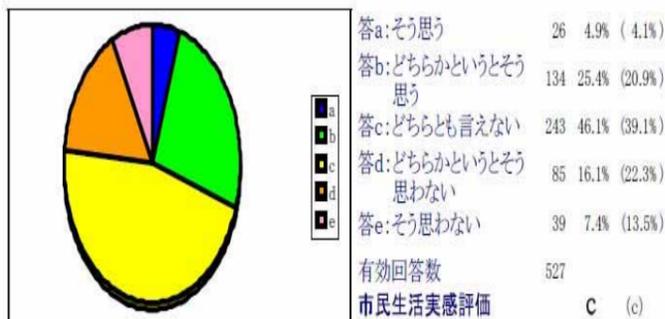
この施策の客観指標評価

客観指標総合評価 C (b)

指標名	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
今の社会では個人が尊重されていると考える市民の割合(%)		38.2			d(-)
人権はすべての市民の問題であるとする市民の割合(%)		91.1			a(-)
人権擁護に関する制度の認知度(%)		34.4			d(-)
人権侵害事件受理件数(件)	504	545	533	102.3%	a(-)
子ども子育ていきいきフェア参加人数(人)		9000			-(-)
障害者社会参加促進事業参加者数(人)	11964	11247	12659	88.8%	e(c)
(準)企業向け人権研修参加者数(人)	611	582	611	95.3%	b(a)
(準)ウイングス京都専門相談の件数(件)	204	244	221	110.4%	a(b)
(準)長寿すこやかセンターにおける権利擁護相談件数(件)	120	84	120	70.0%	d(b)

この施策に関する市民生活実感評価

京都は普段の生活の中で「人権」を大切に、尊重し合う習慣が根付いている。



※ ( )は昨年の評価結果及び数値を表しています。

<参考>この施策実現のための主な事業

- 市民啓発事業(人権)
- 世界人権問題研究センター運営助成
- 人権団体等各種補助金
- 人権啓発推進支援事業
- コミュニティセンター資料展示施設運営
- (準)企業内人権啓蒙

After

過去2年間の評価結果と比較！

施策番号	1111
施策名	日々のくらしのなかに人権を大切に、尊重し合う習慣が根付いた「人権文化」の構築
概要	人権尊重の考え方が日常生活に根付いた社会の構築
担当局	文化市民局 共管局 保健福祉局
上位政策	111 ひとりひとりが個人として厚く尊重される
<b>施策の評価</b>	
<b>1 客観指標評価</b>	
	19年度 20年度 21年度
1 人権擁護に関する制度の認知度(%)	d d - 34.4% 30.0% 43.0%
2 人権侵害事件受理件数(件)	a a 713 701 713 98.3%
3 企業向け人権研修参加者数(人)	c d 514 461 611 75.5%
4 ウイングス京都専門相談の件数(件)	a a 310 314 310 101.3%
5 長寿すこやかセンターにおける権利擁護講演会及びセミナー参加者数(人)	- c 718 638 800 79.8%
6 -	- - - - -
7 -	- - - - -
8 -	- - - - -
9 -	- - - - -
10 -	- - - - -
客観指標総合評価 c	

上位政策を記載し、政策と施策の関係を明確に！

「重み付け」欄を新設して、どちらの評価を重視するかルール化！

過去2年間の評価結果と比較！

設問	19年度	20年度	21年度
京都は普段の生活の中で「人権」を大切に、尊重し合う習慣が根付いている。			
回答	回答者数	回答率	回答者数
a: そう思う	19	4.1%	47
b: どちらかというと思う	109	23.5%	180
c: どちらとも言えない	218	47.1%	280
d: どちらかというと思わない	67	14.5%	118
e: そう思わない	50	10.8%	66
有効回答数	463		618
市民生活実感評価	C	C	C

過去2年間の評価結果と比較！

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感評価)					
客観指標総合評価	19	20	21		
市民生活実感評価	b	b	c		
総合評価	C	C	C		
重み付け	(理由)				
<input type="checkbox"/> 客観指標 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	この施策は地道な取組の積み重ねにより達成されるものであり、日常生活で人権が大切にされていると実感できることが重要であることから、市民生活実感評価を重視する。				
原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価、市民生活実感評価、事務事業評価の結果等を踏まえて記入					
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価は、昨年度に引き続きC評価となった。</li> <li>人権相談・教済の取組の認知度が低いということや講演会及びセミナー参加者数が減少していることから客観指標総合評価は、昨年度のbからc評価となった。また、市民生活実感評価については、京都は普段の生活の中で「人権」を大切に、尊重し合う習慣が根付いていると考える市民の割合(市民生活実感評価)で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」とした人の合計が、前年度比で5.4%アップしたが、全体の中では、合計でも38.2%と、依然として十分とはいえない結果が出ている。</li> <li>人権相談・教済の充実や取組の周知を図るため、人権教育・啓発活動との連携や、「京都市人権相談教済ネットワーク」を中心とする活動の充実(相談を受ける機関の信頼性の向上や情報収集及び提供)、「京都市人権相談マップ」等による相談機関等の情報等の提供などを引き続き推進する。</li> </ul>					
原因分析・今後の方向性					
1	市民啓発事業(人権)	164,792	157,655	充実	文化市民局
2	世界人権問題研究センター運営助成	53,841	52,401	現状のまま継続	文化市民局
3	人権施策行政協議会負担金	1,997	1,997	現状のまま継続	文化市民局
4	人権擁護団体等各種補助金	2,567	2,567	現状のまま継続	文化市民局
5	人権啓発推進支援事業	11,903	16,903	充実	文化市民局
6	人権文化推進計画運営管理	11,604	11,567	現状のまま継続	文化市民局
7	企業内人権啓蒙	29,533	29,167	効率化等による見直し	産業観光局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		276,236	272,256		
うち、主たる事業の合計(従たる事業の合計)		246,704(29,533)	243,090(29,167)		

「原因分析・今後の方向性」欄を新設して説明責任を強化！

この施策を実現するための主な事務事業とその予算額等を記載し、施策との関係を明確に！

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む